

ジェンダー不平等への取組に向けてグローバル都市が団結（仮訳）

・バルセロナ、フリータウン、ロンドン、ロサンゼルス、メキシコシティ、東京は、ジェンダー平等を支援するための世界初の都市ネットワークを結成した。

・現在の傾向では、経済的な男女格差はさらに275年間は解消されません。

ジェンダー平等のためのシティハブネットワーク（CHANGE）は、男女差別、女性蔑視、ジェンダーに基づく不公平に対する取組のベストプラクティスの共有を目的として設立された。

世界中で女性や少女は、機会の喪失、賃金不平等、身体的・性的暴力、高い無給労働比率、低い女性政治代表比率等、多くの差別に直面し続けている。

世界経済フォーラムの「世界ジェンダー・ギャップ報告書」（2020年）は、現状のペースでいくと、経済的な格差は、今後257年間は解消されないと結論づけている。世界がCOVID-19パンデミックによってもたらされた重大な課題に直面し続ける中、パンデミックが、特に女性の健康、安全、雇用、経済的自立性に対して、不釣り合いに大きすぎる影響を与えていることが我々の目に明らかとなっている。マッキンゼー・アンド・カンパニーによる2020年の別の調査によると、コロナウイルス危機の状況下において、女性の雇用は男性の1.8倍も脆弱であることが明らかとなっている。同様に、女性は世界の雇用の39%を占めているものの、全体の雇用損失の54%を占めている。

この先駆的な国際都市ネットワークは、世界中の都市レベルにおけるジェンダー平等への取り組みに焦点をあてることを確実にし、ジェンダー平等の障壁を取り払うための革新的なアプローチを促進するために設立された。11月23日（月）に開催されるバーチャル会議で発足する。

同ネットワークの最初の議長はロサンゼルスである。エリック・ガルセッティ市長のリーダーシップの下、都市の総合力を活用して、サービスやシステムが全市民に資するための改革が優先課題となる。CHANGEの活動は、人種、宗教、民族的な出身、障害、性的指向、ジェンダー・アイデンティティや表現に基づいて交錯した不平等を明確に認めて、これらへの対応策を探ることである。

（各都市発言内容は本文参照）

東京都知事の小池百合子はこのように語った。：「私は、2016年に東京都ではじめて女性として知事に就任以来、女性のエンパワーメントに力を入れてきました。私たちリーダーが、自らの都市が抱える課題の解決に取り組み、さらに都市間の連携を図っていくことは、各都市の発展だけでなく、世界的な課題解決にも貢献するものと考えています。現在、COVID19との厳しい闘いが続いております。このCOVID19は、日本・東京における男女平等参画にも大きな影響を及ぼしています。こうした中、東京が今後も活力ある都市として発展するには、男女を問わず一人ひとりが、その個性と能力を十分に発揮できる機会が確保されていることが重要になります。東京都は来年、東京2020大会を主催します。オリンピック・アジェンダ2020においても、男女平等参画を推進することは極めて重要です。CHANGEの理念の実現に向け、皆様と手を携えて進んでまいります。」

編集者への注意事項：

世界経済フォーラムの「世界ジェンダー・ギャップ報告書」(2020年)では、「現在の傾向を考慮して将来を予測すると、報告書の初版から継続的に対象としている107カ国では、世界全体のジェンダー・ギャップの解消に平均で99.5年間を要する。経済参加と機会の格差の解消が進まないことは、この格差を埋めるために必要な時間が引き延ばされることを意味する。2006～2020年間に要したペースの遅さでは、このギャップを埋めるのに257年を要することになる。」としている。レポートの全文はこちらを参照のこと：
http://www3.weforum.org/docs/WEF_GGGR_2020.pdf

国連の報告によると、パンデミックとその蔓延を防ぐための対応策により、女性の失業率が男性に比べ非常に増加し、女性の労働時間が減少している。詳細はこちらを参照のこと：
https://www.unwomen.org/en/news/stories/2020/9/feature-covid-19-economic-impacts-on-women?utm_source=dlvr.it&utm_medium=facebook

マッキンゼー・アンド・カンパニーは、女性の仕事は男性の仕事よりも1.8倍もコロナ危機において脆弱であると試算している。女性は世界の雇用の39%を占めているものの、失業全体数の54%を占めている。このように女性への影響が大きい理由の1つは、パンデミックが女性への無報酬介護の負担を著しく増大させているためである。女性と男性が異なる分野で働いていることを考慮しても、これは特に女性の雇用が平均以上に減少していることを意味している。

<https://www.mckinsey.com/featured-insights/future-of-work/covid-19-and-gender-equality-countering-the-regressive-effects#>